

電波時計（報時付掛時計）取扱説明書

取扱説明書番号 M338-CXXZ

～ 製品の特長 ～

- 標準時刻の電波を受信して毎日時刻合わせを自動的に行います。
- 毎正時と30分にメロディやチャイム、鐘の音で時刻をお知らせします。
- 電池の交換時期お知らせ機能

- お買い上げいただきありがとうございます。
- お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について**
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。
- 修理可能期間について**
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合**
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号（型番）をお伝えください。

例. 4MN○○○

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

（フリーダイヤル）

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。





(Y0810)

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。


■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

- | | | | |
|--|--|---|---------------------------|
|  | この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |  | この表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
|  | この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |  | この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |


■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのごよれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

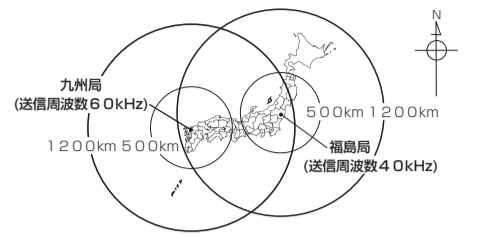
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがありますのでお勧めできません。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

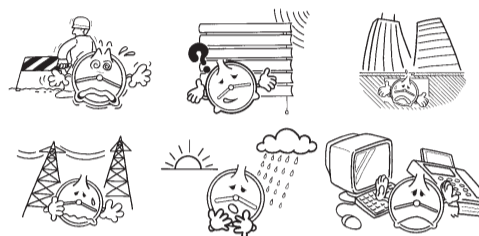


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



電池のご注意（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう


- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ●プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。 | ●古い電池と新しい電池を混ぜない。 |
| ●種類の異なる電池を混ぜない。 | ●時計が動いていても定期的に交換する。 |
| ●長期間使用しないときは電池を取り外す。 | ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。 |
| ●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。 | ●電池を新しくするときは、全部取り替える。 |
| ●幼児の手が届かないところに置く。 | |

電池の種類について


- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。ⓧ **アルカリとマンガン乾電池の混使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
- 一般に充電式乾電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
(例：Panasonic オキシライド乾電池)


取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

- | | | |
|--|----------------------|----------------------|
|  | ●電池に傷をつけたり、分解しない。 | ●電池をショートさせない。 |
| | ●電池を充電しない。 | ●時計を使用しないときは電池を取り外す。 |
| | ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。 | |

液もれが起きてしまったとき

 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

 もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買った電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

 火に入れると破裂の原因となり危険です。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃	標準電波	受信局自動選択 福島局 40kHz/九州局 60kHz
時間精度	表示精度 標準電波受信直後 時分針 自盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20 秒（常温でのクォーツ精度）	受信表示ランプによる受信局表示	自動受信 最少 1日1回 最多 1日12回 受信状態により、受信回数は変化します。
報時精度	表示時刻に対して±1秒	電池交換時期お知らせ機能	秒針が常時12時位置に停止
使用電池	単2形アルカリ乾電池 JIS規格 LR20 2個	明暗センサー	暗くなると 秒針が12時位置に停止、受信表示ランプ消灯 報時スイッチが自動消音のときは報時を停止
電池寿命	約1年 標準電波の受信に成功し、報時を音量中位で1日17回行ったとき	報時機能	電子音報時 報時形式 3通り 音量調節、報時モーター 報時スイッチ 自動消音 常時 ON/OFF

■製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

単2形アルカリ乾電池 2個 木ねじ 1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

受信表示ランプ
時計 (短い針)
分針 (長い針)
秒針
明暗センサー

〈側面操作部〉
 チャイム+数取り
 メロディ+数取り
 自動消音
 報時入
 報時切
 音量つまみ
 小さい
 大きい
 音量
 報時モニター
 報時モニター

〈電池の入れ方〉②
 電池ぶたを取る：引っ張る
 電池ぶたを取り付ける：押し込む

引っ張る
 押し込む
 電池ぶた
 〈裏面〉
 単2形アルカリ乾電池 2個

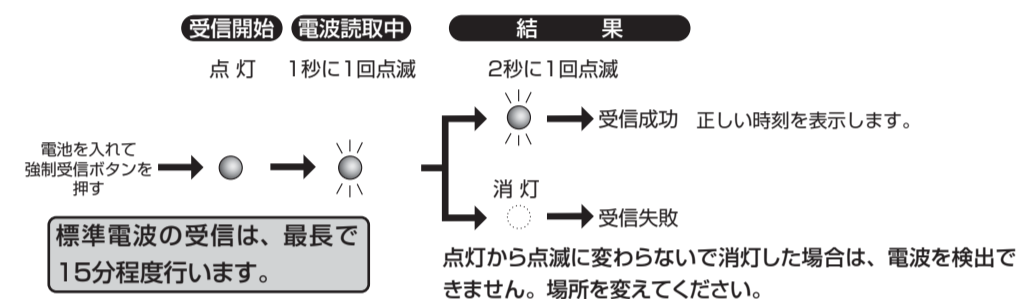
スリープモニターボタン
 明暗センサーにより、秒針と受信表示ランプが停止する様子を再現します。
 ※「明暗センサーとスリープモニター」参照

強制受信ボタン③
 電池を入れたとき、設置場所を変えたとき、誤受信したときに使用します。
 〈裏面操作部〉

時刻合わせボタン
 受信できないときなど手動で時刻合わせをするときに使用します。
 ※「電波を受信できない場合」の「手動での時刻合わせ」参照

時計・分針・秒針の動き
通常の時刻表示
 時計・分針：10秒に1回動きます。
 秒針：1秒ステップで動きます。
自動時刻修正
 時計・分針：順方向に早送りしたり、一時停止することもあります。
 秒針：早送り順方向に動きます。12時位置に停止することがあります。

受信の流れ (受信表示ランプの見方)



明暗センサーとスリープモニター

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に到達したところで停止し、受信表示ランプが消灯します。また、報時スイッチが自動消音のときは、報時を停止します。センサーは、時計の周囲の明るさに反応しますので、昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが動きます。スリープモニターは明暗センサーの機能を確認するためのものです。秒針が55～59秒の位置になったときに、スリープモニターボタンを押し、そのまま押し続けると12時位置になったときに秒針が停止します。ボタンを離すと秒針が現在時刻に早送り移動します。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせ使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせるによりご使用になれます。

手動での時刻の合わせ方

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。手動で時刻合わせをするとクォーツ精度になります。
 ※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送り動いている場合は、通常の針の動きになってから操作をしてください。
 ※手動で時刻合わせをしても、受信に成功すると自動的に時刻は修正されます。

時刻合わせボタンを押して時刻を合わせる

- 時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます。
 - 時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送り動きます。
 - 秒針は、ボタンを押し続けているときに12時位置になると止まります。
- 秒針の動きについて**
 時刻合わせボタンを離れたとき、ゼロ秒になります。ボタンを離れたとき、秒針が12時位置にないときには、早送りで移動します。

電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、秒針が12時位置に常時停止します。このような状態になりましたら、新品の電池にすべて交換してください。放置すると時間違いや誤作動の原因になります。また、電池からの液もれにより、時計の故障、壁や家具などに損害が発生する恐れがあります。

電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池を長期間使い続けると、電池からの液もれが発生しやすくなります。電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
 - 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
 - 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。
 - 電池の⊕⊖を逆に入れない。
- 注意**
 液もれだ!

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**標準電波を受信できない場合**の「手動での時刻の合わせ方」を参照してください。

- ◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。
- 報時スイッチを「報時切」にし、音量を最小にする**
 操作中に、報時が大きな音で鳴り出さないようにします。
 - 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単2形アルカリ乾電池を入れる**
 〈電池の入れ方〉参照。
 電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。
 - 強制受信ボタンを押す** **受信の流れ (受信表示ランプの見方) 参照**
 受信表示ランプが点灯し受信を開始します。
 針は止まったままですが、故障ではありません。
 ※受信が終わると針が早送り時刻位置に移動します。
 ※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。
 ※受信中はボタン操作をしないでください。
 - 時計を掛ける**
時計の掛け方に従い、時計を確実に掛けてください。
 - 受信開始から15分程度経過したら受信結果を確認する**
 受信表示ランプが2秒に1回点滅すれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。消灯している場合は、**標準電波を受信できない場合**を参照してください。
 ●受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
 ●受信に成功しているのに、時刻が正しくない場合は、ノイズの影響と思われるので、場所を変えてから強制受信ボタンを押してください。

報時の設定……………お好みに合わせて報時機能を設定してください。

報時スイッチの設定

報時の入 (ON)/切 (OFF)、夜間など暗くなると自動的に停止させる自動消音のいずれかを選択します。

報時入 常に報時する。
自動消音 暗くなると自動的に報時を停止する。
報時切 報時を停止する。

報時音スイッチの設定

報時のしかたを選ぶことができます。

チャイム+数取り
毎正時 ウェストミンスターを奏で、その後時刻に対応した数で鐘が鳴り、時刻をお知らせします。
30分 鐘が1回鳴ります。

メロディ+数取り
毎正時 1曲メロディを奏で、その後時刻に対応した数で鐘が鳴り、時刻をお知らせします。
30分 鐘が1回鳴ります。

数取り
毎正時 時刻に対応した数の鐘が鳴ります。
30分 鐘が1回鳴ります。

メロディについて

- メロディの曲目は時計裏面に表示してあります。
- 曲順は変更することはできません。
- 時刻ごとに曲目は固定されていません。
- 報時する音は電子音によるものです。

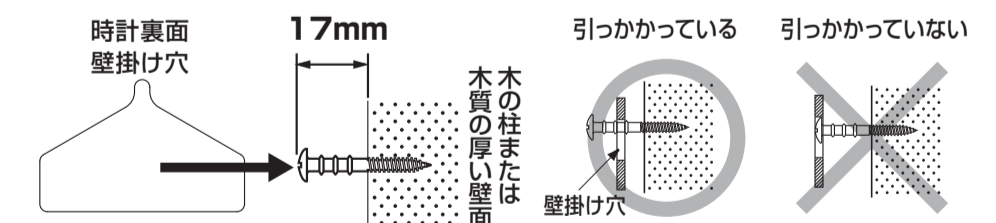
時計の掛け方

掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具 (木ねじ) がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。